

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成21年 9月

(平成21年 8月末調査)

平成21年9月15日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【7月】	諏訪公共職業安定所管内	0.38倍	△0.84ポイント	
手形交換高【8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	8,221枚	+28枚	
	金 額	9,058百万円	△563百万円	
	うち不渡り	枚 数	5枚	+1枚
	発生状況	金 額	2,768千円	2,168千円
電力使用量【8月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	49,241 MWh	△4.2%	
	高压電力計	99,388 MWh	△14.2%	
	合 計	148,629 MWh	△11.1%	
車庫証明取扱件数【8月】(諏訪地方合計)		782件	△3.1%	
新設住宅着工件数【21年4月～7月】(諏訪管内)		445戸	△24.5%	

□本文は、当金庫取引先約120社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車部品の下請企業の受注はハイブリット車向けで繁忙の企業がみられ、その他のエコカーを含む一般車向けでも親会社の在庫調整の進展から前年同月比のマイナス幅は縮小している。ただし、大手自動車メーカーの生産能力縮小計画の影響を危惧するなど、先行きは慎重な見方の企業が多い。工作機械・専用機など設備関連企業の受注・生産状況は引き続き低調である。デジタルカメラ関連の地元業者の受注状況は、親会社により区々であるが一部の企業では受注量の増加がみられる。

地域製造業の状況は、底は脱したものの受注量は前年同月比5～6割程度で足踏みしているとする企業が多い。また、加工部品や製造工程の違いにより受注水準にバラツキがみられ受注が緩やかながら回復しており4勤3休等を解除した企業がある一方で、受注水準が低いまま、この状態が年末まで続いた場合には更なる人員整理等を行うとする企業もある。

●商業

諏訪地方の8月の天候は、中旬は晴れた日が多かったものの、上旬は雨の日が多く下旬は低温の日が多いなど不順な天候であった。

衣料品の売れ行きは引き続き低調であり、秋物関連の出足も遅くなっている。食料品は天候不順の影響により野菜は高値となったが、店舗間競争等からその他の商品単価や客単価は下がっており、各店舗の売上高は前年並みから前年を幾分下回ったところが多い。また、食品の産地にこだわらず低価格を重視する消費者が増えているとの声がきかれる。自動車販売では、諏訪地域の8月の車庫証明件数(軽自動車除く)は782台で前年同月比△25台(△3.1%)とエコカー減税等の効果からマイナス幅は大幅に縮小している。

●観光業

諏訪湖畔で行われた第 61 回諏訪湖祭湖上花火大会は、約 4 万発が打ち上げられ過去最高に並ぶ 50 万人（主催者発表）が詰めかけ大きな賑わいを見せた。

上諏訪温泉の宿泊客数は、団体客の減少がみられるもののサマーナイトファイヤーフェスティバルの定着などによる個人客の集客により前年並みを維持している。蓼科・白樺湖・車山方面の入り込み客数は、8 月上旬の不順な天候により前年を下回った。

各観光地とも共通して、お盆明けの集客が低迷したとするホテル旅館が多い。また、E T C 休日割引については、「効果がある」とする観光地と「効果はない」とする観光地に分かれている。

●建設業

市町村の 8 月の発注工事は、建築工事 12 件 389 百万円、土木工事・下水道工事 59 件 409 百万円、その他工事 20 件 209 百万円の合計 91 件 1,008 百万円で、前年同月比+11 件+328 百万円の増加となった。県関係の 8 月の公共工事（地元業者受注分）は 17 件 708 百万円で、平成 21 年 4 月～8 月の累計契約は 47 件 1,111 百万円と前年同期累計比では△18 件、△688 百万円の減少となっている。

民間工事は、諏訪地方の 7 月の新設住宅着工件数は 115 戸で前年同月比では△45 戸（△28.1%）の減少となった。利用関係別では、「持家」が前年同月比△27 戸減少している。

●雇用

諏訪地域の 7 月の有効求人倍率は、前年同月を 0.84 ポイント下回り 0.38 倍と対前年比で 22 ヶ月連続して低下している。また、長野県の同倍率は 0.39 倍と全国平均の 0.42 倍を引き続き下回った。

諏訪地域の 7 月の新規求人（全数）は 874 人で前年同月比△611 人（△41.1%）の減少、新規求職者数は 910 人で前年同月比+154 人（+20.4%）の増加となっている。新規求人数は、地域の主力産業である製造業全体で 171 名と対前年同月比△135 人（△44.1%）の減少となっている。

また、1 件 10 人以上の人員整理は 1 件 13 人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 198 人と前年同月より 124 人増加、前月より 6 人増加となった。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	総体での足元の生産状況は弱含んでいるが、引き合いが増加している企業もみられる。
コンデンサー	受注は低調なまま推移している。
プリンター	下請企業の受注は、減少したまま推移している。
コンタクター・リレー	安定した受注状況である。

2. 輸送用機械

自動車	ハイブリット車向けで繁忙の企業がみられ、一般車向け部品の受注でも親会社の在庫調整の進展から前年同月比のマイナス幅は縮小している。大手メーカーの生産能力縮小計画の影響を危惧する企業が多い。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は、底打ちはしたものの減少したまま推移している。
船外機	底打ちはしたものの、受注は弱含みで推移している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	一部で若干の動きがみられるものの、総体での受注・生産状況は引き続き低調である。
搬送用機械	受注は低水準となっている。
金型	企業により区々であるが、新規の見積りや受注の件数が増加している企業もある。
ダイカスト	自動車向けは総体では弱含んでいるものの、一部で受注回復の見込みがきかれる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの7月の生産台数は795万台で前月比3.9%増加、前年同月比△6.2%減少となっている。7月の出荷台数は国内出荷73万台、海外出荷712万台で、出荷台数全体では前月比4.7%増加、前年同月比△3.9%減少となっている。(カメラ映像機器工業会) 地元業者の受注は、親会社により区々であるが一部の企業では受注量の増加がみられる。
プロジェクター レンズ	海外生産が主体であり、国内では試作が中心となっている。 地元業者の受注は減少傾向である。

5. 織 維

ニット

冬物の生産時期となり、前月比での受注は増加している。

6. 食 品

寒天

問屋向けの荷動きが良かった。天候不順により、ところてんの需要が弱含んだことから天草の動きは低調であった。

味噌

出荷は平年並みである。

7. 製 材

諏訪地方の7月の木造住宅着工件数は84戸で前年同月に比べ△40戸(△32.2%)減少しており、建材等の動きは低調な推移となっている。

8. 建 設

公共工事

8月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所11件、施設課関係工事1件、林道治山工事関係2件、その他工事3件の合計17件、契約金額708百万円となっている。平成21年4月～8月の累計契約は47件1,111百万円と前年同期累計比で件数は△18件減少、契約額は△688百万円の減少となっている。

市町村の8月の発注工事は、建築工事12件389百万円、土木工事・下水道工事59件409百万円、その他工事20件209百万円の合計91件1,008百万円で、前年同月比+11件+328百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の7月の新設住宅着工件数は115戸で前年同月比では△45戸(△28.1%)の減少となった。利用関係別では、「持家」が前年同月比△27戸減少の80戸、「貸家」が前年同月比△14戸減少の30戸、「給与」が前年同月比△2戸減少の2戸、「分譲」が前年同月比△2戸減少の3戸となっており、全ての利用関係別で前年を下回っている。

なお、長野県全体の7月の新設住宅着工戸数は899戸で、前年同月比△33.2%の減少と9ヶ月連続で減少している。

9. 商 業

諏訪地方の8月の天候は、中旬は晴れた日が多かったものの、上旬は雨の日が多く下旬は低温の日が多いなど不順な天候であった。

衣料品の売れ行きは引き続き低調であり、秋物関連の出足も遅くなっている。食料品は天候不順の影響により野菜は高値となったが、店舗間競争等からその他の商品単価や客単価は下がっている。また、食品の産地にこだわらず低価格を重視する消費者が増えているとの声がきかれる。自動車販売では、エコカー減税等の効果からマイナス幅は大幅に縮小している。

衣料	衣料品の売れ行きは引き続き低調であり、前年比の売上高は△10～20%程度減少している店舗が多くみられる。
食料品	8月前半は天候不順のため野菜は高値となった。店舗間の競争から商品単価の低下等により客単価は下がっており、各店舗の売上高は前年並みから前年を幾分下回ったところが多い。
家電製品	エコポイント対象の冷蔵庫や薄型テレビの動きは堅調であるが、冷夏の影響からエアコン・扇風機の動きは弱かった。
自動車	諏訪地域の8月の車庫証明件数（軽自動車除く）は782台で前年同月比△25台（△3.1%）とエコカー減税等の効果から減少幅は大幅に縮小した。
ホームセンター	低価格志向がきかれるものの生活関連用品の売れ行きは比較的堅調であり、新型インフルエンザ対策から関連グッズの売れ上げが伸びた。

10. 観 光

諏訪湖畔で行われた第61回諏訪湖祭湖上花火大会は、約4万発が打ち上げられ過去最高に並ぶ50万人（主催者発表）が詰めかけ大きな賑わいを見せた。

上諏訪温泉の宿泊客数は、団体客の減少がみられるもののサマーナイトファイヤーフェスティバルの定着などによる個人客の集客により前年並みを維持している。蓼科・白樺湖・車山方面の入り込み客数は、8月上旬の不順な天候により前年を下回った。各観光地で共通して、お盆明けの集客が低迷したとするホテル旅館が多い。また、ETC休日割引については、「効果がある」とする観光地と「効果はない」とする観光地に分かれている。

上諏訪温泉	宿泊客数はホテル旅館により区々であるが、総体では前年並みを維持している。8月は連日花火が打ち上げられており、好評を博している。
蓼科・白樺湖・車山方面	8月前半は不順な天候が続いたことから前年に比べ入り込み客が減少しており、宿泊価格を引き下げ集客したホテル旅館がみられる。
下諏訪温泉	総体の宿泊者数は前年同月比で幾分減少した模様であるが、日帰り宴会が増加した施設がみられる。
諏訪大社	上社・下社を合わせての参拝客数は約58千人と、前年同月比約△6千人の減少となった。8月8日に発生した豪雨災害により上社の境内に土砂が流入したが、短期間で復旧している。

